



富山アラート発令中！！ 新型コロナウイルス感染症

令和4年8月31日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和4年第34週分・8月22日～8月28日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

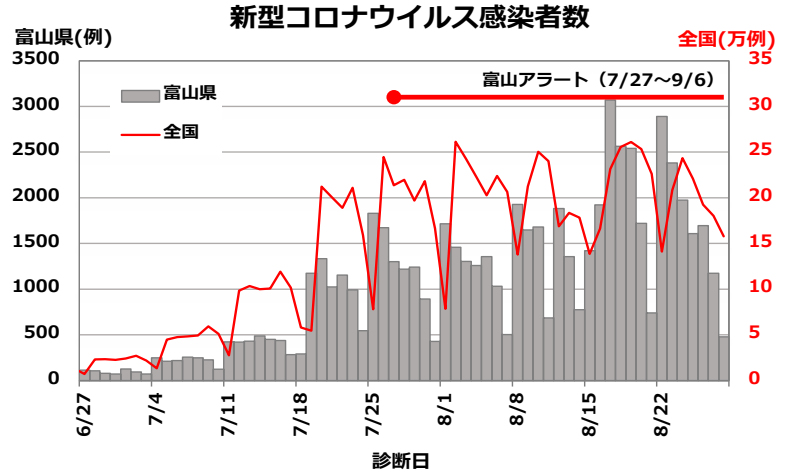
国内の新型コロナウイルス感染者数は、8月28日時点で18,506,515例となり、39,005例の死亡が確認されています。全国の感染者数は、7月下旬以降高止まりの状態が続いています(図;折れ線グラフ)。また、8月24日時点でほとんどの都道府県において病床使用率は55%を超えており、医療提供体制が逼迫した状況です。

県内では、今週の感染者数は12,199例であり、先週(8月15日～8月21日)の13,977例より減少しましたが、依然として高い水準となっています(図;棒グラフ)。年代別内訳では10歳未満、60代以上の割合が増加傾向です。また、病床使用率は59%(8月29日時点)となり、医療機関の逼迫度も高まっています。こうした状況から、県は新型コロナ感染拡大警報(富山アラート)を9月6日までの予定で発令しています。

ウイルスゲノム解析について、県内の8月中旬採取検体ではほぼBA.5系統に置き換わっており、全国的な感染動向と同様です。

更なる感染拡大の防止のため、基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が必要です。熱、のどの痛み等の症状がある場合は外出を控え、医療機関に連絡のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691)にご連絡ください。県は新型コロナウイルス感染症に感染された方について、感染確認から療養までの流れをホームページにまとめています(<https://www.pref.toyama.jp/120507/727kansen.html>)。感染されていない方も事前に確認し、いざという時に備えましょう。また、感染に不安を感じる県民の方を対象に9月30日までPCR等検査無料化事業が実施されています。詳しい内容は県HP(<https://www.pref.toyama.jp/1103/20211227pcr.html>)よりご確認下さい。

更なる感染拡大の防止のため、基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が必要です。熱、のどの痛み等の症状がある場合は外出を控え、医療機関に連絡のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691)にご連絡ください。県は新型コロナウイルス感染症に感染された方について、感染確認から療養までの流れをホームページにまとめています(<https://www.pref.toyama.jp/120507/727kansen.html>)。感染されていない方も事前に確認し、いざという時に備えましょう。また、感染に不安を感じる県民の方を対象に9月30日までPCR等検査無料化事業が実施されています。詳しい内容は県HP(<https://www.pref.toyama.jp/1103/20211227pcr.html>)よりご確認下さい。



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 12,199件(暫定値)
- 二類感染症 結核 2件(①第32週診断分:70歳代、男性 ②第33週診断分:70歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(10歳未満、女性、O157、VT(型不明))
- 四類感染症 E型肝炎 1件(80歳代、女性)
- 五類感染症 急性脳炎 1件(50歳代、男性)
- 水痘(入院例) 1件(第33週診断分:10歳代、女性)
- 梅毒 1件(30歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	2.34(↓)	2.45
2位	感染性胃腸炎	2.07(↓)	2.17
3位	RSウイルス感染症	0.86(↑)	0.28
4位	ヘルパンギーナ	0.59(↑)	0.28
5位	無菌性髄膜炎	0.20(↑)	0.00
6位	突発性発しん	0.17(→)	0.17

○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第34週 令和4年8月22日～令和4年8月28日）

分類	疾患	今週報告分（第34週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1,213	920	3,772	1,348	4,930 ^{※1}	16	12,199	9,041	7,874	30,184	10,544	41,941 ^{※1}	375	99,959
二類感染症	結核								1	5	26	9	27		68
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1		1	2	1	4	1	10		18
四類感染症	E型肝炎	1						1	1						1
	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症								3		9	5	11		28
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3
	ウイルス性肝炎										3				3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										4	2	6		12
	急性脳炎			1				1			4				4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								3		5		7		15
	後天性免疫不全症候群												1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		4		5
	侵襲性肺炎球菌感染症										2		4		6
	水痘（入院例）										1		3		4
	梅毒			1				1	2		9	3	20		34
	播種性クリプトコックス症												3		3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1
	RSウイルス感染症		4	10		11		25	30	31	303	57	305		726
	咽頭結膜熱	2	1					3	52	36	155	12	115		370
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		2				3	30	10	105	22	172		339
	感染性胃腸炎	9	7	9	9	26		60	614	611	1,643	597	1,932		5,397
	水痘			3		1		4	2	9	41	1	28		81
	手足口病	12	7	24	8	17		68	43	125	429	39	262		898
	伝染性紅斑								1	1	4	1	5		12
	突発性発しん		1	2		2		5	20	25	108	28	90		271
	ヘルパンギーナ	9	2	3		3		17	72	96	48	4	29		249
	流行性耳下腺炎				1			1	1		5	4	1		11
	流行性角結膜炎				0.25			0.03		10	4	7			21
	細菌性髄膜炎											1	1		2
	無菌性髄膜炎					1		1					1		1
	マイコプラズマ肺炎											1			1
インフルエンザによる入院患者（※3）										1	3	1		5	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週（9月6日）～の集計です。